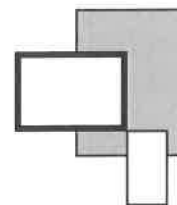




Matsuyama  
Business  
College

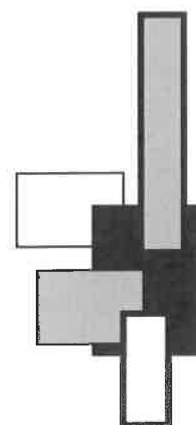
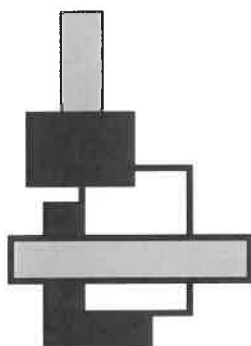


# 松山デザイナー専門学校

## ファッションビジネス学科

2026 年度

# シラバス



ファッションビジネスコース 1年

名前

※一年間、各自保管すること

令和8年度

服飾家政専門課程 ファッションビジネス学科 ファッションビジネスコース

必修 / 選択	区分	科目名	種別	担当者	ファッションビジネスコース 1年		
					前期	後期	単位
必修	学科 共通	色彩学Ⅰ	講義	森田	30		2
		西洋服飾史	講義	竹松	30		2
		デジタル演習Ⅰ	実習	白石	30		1
		写真撮影技法Ⅰ	実習	重岡	30		1
		英会話Ⅰ	講義	宇野	30		2
		服飾造形基礎	実習	木村	30		1
		ショップマスターⅠ	講義	武智	30		2
		ファッションビジネスⅠ	講義	竹松	90		6
		スタイリング実習Ⅰ	実習	稲美	30		1
		サービス接遇Ⅰ	講義	重橋	30		2
		ブランド企画Ⅰ	講義	秋山	30		2
		ファッション販売実技・理論Ⅰ	講義	竹松	30		2
		ネットビジネスⅠ	講義	瀧川	30		2
		色彩学Ⅱ	講義	森田		30	2
		デジタル演習Ⅱ	実習	白石		30	1
		写真撮影技法Ⅱ	実習	服部		30	1
		英会話Ⅱ	講義	宇野		30	2
		服飾造形応用	実習	木村		30	1
		ショップマスターⅡ	講義	武智		30	2
		ファッションビジネスⅡ	講義	竹松		90	6
		マーケティングⅠ	講義	大方		30	2
		スタイリング実習Ⅱ	実習	稲美		30	1
		サービス接遇Ⅱ	講義	重橋		30	2
		ブランド企画Ⅱ	講義	秋山		30	2
		ファッション販売実技・理論Ⅱ	実習	竹松		30	1
		ネットビジネスⅡ	講義	瀧川		30	2
必修科目 合計					450	450	51
年間合計時間/単位数					900		51
選択		ヘアメイク実技・理論Ⅰ	実習	高岡	60		2
		ヘアメイク実技・理論Ⅱ	実習	高岡		60	2
選択科目 合計					120		4

1 講義は15～30時間を1単位とし、実習は30～45時間を1単位とする。

授業科目	色彩学 I			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	森田 えり子			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	色彩に関する基本的な理論と必要性を理解し、色に慣れ親しむ						
学習到達 目標	ファッション色彩能力検定3級合格できる知識の習得						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 色彩に関わる業務経験(下着、服飾雑貨、化粧品の商品企画開発・MD)のある講師 が、その経験を活かし、色彩の基本的理論を指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	概論ー色彩のはたらき	色彩の機能、服装と色彩、ファッションと色彩					
2	色彩の体系	色の三属性(色相)、カラーカードグルーピング、色相環作成					
3	"	色の三属性(明度・彩度)、カラーカード記入					
4	"	ヒュー&トーン、トーンマップ作成					
5~6	パーソナルカラー診断	パーソナルカラーとは、診断実演					
7	"	似合う色コードのコラージュ作成					
8	色彩理論ー基礎	コラージュ発表、色の成り立ち、光と色					
9	"	三原色と混色					
10~11	"	視覚と色、色彩と心理					
12	色彩の技術	配色の基礎、色相を基準にした配色、配色演習					
13	"	トーンを基準にした配色、配色演習、色彩基礎					
14	"	色彩構成の基礎、色彩基礎復讐					
15	テスト	修了テスト(色彩基礎)					
使用テキスト 教材・教具	『ファッション色彩 I』日本ファッション教育振興協会 『ファッション色彩能力検定試験3級公式問題集』日本ファッション教育振興協会 カラーカード BASIC COLOR140 B6判、3M スリーエム ポストイット カバーアップテープ 8.5mm SAKAE ブラックペーパーA3×2枚、A3クリアファイル						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	修了テスト100%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							
備考							

授業科目	西洋服飾史			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	竹松 容子			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	西洋服飾史を古代から現代までに体系的に学び、時代背景や文化との関係を理解する さらに調べ学習や発表を通じて、自ら情報を整理し、現代のデザインやスタイリングに活かす力を 養う						
学習到達 目標	・西洋服飾史を時代ごとに整理し説明できる・調べ学習・発表を通じて、自ら資料を収集・分析し発信できる ・服飾史の学びを現代のファッションに応用できる						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	ガイダンス	授業の進め方・評価方法・服飾史を学ぶ意義					
2	古代エジプト・ギリシャ	ドレープ衣装、装飾品の意味					
3	古代ローマ	トガ・チュニック、社会制度と服装					
4	中世ヨーロッパ前期・後 期	ロマネスクとゴシック					
5	ルネサンス～バロック期	宮廷文化、ラッフル、豪華な素材					
6	ロココ期の服装	豪華なドレスと社会背景					
7	革命期～エンパイアス タイル	古典回帰とシンプル化					
8	19世紀前半	クリノリン時代					
9	19世紀後半	バウンスル時代・産業革命					
10	調べ学習①	グループごとに「自分たちの担当時代」を調査し、衣装や文化的背 景をまとめる					
11	20世紀前半	ポール・ポワレ、アール・ヌーヴォー、アール・デコ(デザイン史・音楽 史・映画史)					
12	20世紀中盤	シャネル、ディオール、戦後ファッション(デザイン史・音楽史・映画 史)					
13	20世紀後半～現代	プレタポルテ、ストリート(デザイン史・音楽史・映画史)					
14	調べ学習②・発表	各グループが担当時代を発表、質疑応答					
15	まとめ	全体振り返り・現代ファッションへの応用・総括					
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献	『ファッションの歴史:西洋服飾史』佐々井啓・水谷由美子編、『FASHION IN JAPAN1945- 2020』						
成績評価の 方法・基準	提出物40%・小課題(調べ学習のまとめ)20%・グループ発表20%・期末レポート20%						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	西洋服飾史を単なる歴史知識としてではなく、現代アパレルビジネスとの関連性を意識して学ぶ 販売・商品企画・VMDにどのように応用できるかを考えながら履修すること						

授業科目	デジタル演習 I			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	白石 理恵			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	ビジネスで必要な文書作成ソフトウェア『Microsoft Word』の基本操作を学習し、実践できるスキルを習得する。最終目標として国際資格である『MOS』の取得により、さまざまな機能を使いこなすスキルを身に付け、今後のパソコンを使った業務や作業の効率化を目指す またMOS取得により就職活動のパソコンスキルのアピールに効果的である						
学習到達 目標	基本的なビジネス文書作成のほか、画像・イラストを用いた表現力のある文書やPOP作成を学習する。また便利で効率良い機能や操作方法を学び実務で使いこなせるようになる						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 電機メーカーにてOAインストラクターを経た後、学校関係でPC講師としてOfficeソフトの操作指導や資格取得の授業を担当					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	Word 基礎	Wordの画面構成と基本操作を学ぶ					タイピング練習
2	Word 基礎	基本的な文書の作成と編集(インデント、タブ、均等割付など)					
3	Word 基礎	表作成とスタイル編集を学ぶ					
4	Word 演習	表を活用したビジネス文書を作成する					
5	Word 基礎	オブジェクト(図形、画像、ワードアート)の基本操作を学ぶ					
6	Word 演習	オブジェクトを活用したPOP作成、発表					
7	Word MOS 模擬①	模擬問題①を解説しながら一緒に解いていく				模擬問題① 1~4	
8	Word MOS 模擬①	"				模擬問題① 5~9	
9	Word 模擬試験①	各自で模擬試験①を解く(目標70点以上)					
10	Word MOS 模擬②	模擬問題②を解説しながら一緒に解いていく				模擬問題② 1~4	
11	Word MOS 模擬②	"				模擬問題② 5~9	
12	Word 模擬試験②	各自で模擬試験②を解く(目標70点以上)					
13	Word MOS 模擬③	模擬問題③を解説しながら一緒に解いていく				模擬問題③ 1~4	
14	Word MOS 模擬③	"				模擬問題③ 5~9	
15	Word 模擬試験③	各自で模擬試験③を解く(目標70点以上)					
使用テキスト 教材・教具	『わかる Microsoft Word 2024 & Microsoft Excel 2024 & Microsoft PowerPoint 2024 Office 2024/Microsoft 365対応』FOM出版 『わかるマスター MOS Word 365対策テキスト&問題集』FOM出版						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	小テスト30%・課題作成40%・模擬試験30%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	MOS Word 365(一般レベル) 2027年1月下旬頃		
備考							

授業科目	写真撮影技法 I		時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	重岡 真美		時間割	火曜 1・2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年	
授業科目の テーマと目的	撮影に関する基礎知識とカメラ技術について学び、コマーシャルと写真の関わり方を理解する また、業界で必須となる基礎の撮影知識やカメラの扱い、撮影マナーを学ぶ					
学習到達 目標	SNS・ネット販売の運用					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 ブライダル業界や、取材、スタジオ勤務等のコマーシャル業界でのカメラマン経験がある講師 がその経験を活かし、撮影に関する基礎知識や技術、編集や印刷工程との連携などを指導する				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1～3	写真表現	光の強さ/光の方向 光の違いによる写真の違いとコントロール方法を学ぶ 実習1 スマートフォンを使ってさまざまな光を探して小物を撮る *イメージ写真と説明写真をファッション小物を題材に撮ってみる *撮影した画像をスマートフォン内のアプリを使ってタッチしてみ る				
4～6	カメラ&撮影基礎知識	デジタル時代の写真と機材(レンズ含む) データの扱いについて レンズの違いによる作品の違い DPI(解像度)の違いや画像形式、その取り扱い カメラの使い方、モードと撮影方法について 画像補正方法				
7～8	フォトディレクション思考	SNS時代の写真とディレクション ファッション業界における写真の有用性を知る イメージを伝える写真と理解してもらうための写真の違い 撮影能力と同等に必要なディレクション能力について 撮影の段取りと準備 実際の現場の写真を例に挙げ撮影準備やそのコンセプトを学ぶ ファッション写真の撮り方とその方法				
9	メディア別写真	紙とwebと写真 写真の撮影紙表現用撮影とWEB撮影用の違いとその撮影アプローチ 写真レイアウトや撮影後のデザイントリミングの有用性などWEB×写 真 デジタル技術の浸透とDX化によるWEB×写真 SNS×写真				
10～15	撮影テクニック (一眼レフカメラ使用)	実習2 人物編一撮影からタッチまで 実習3 商品撮影編一撮影からタッチまで 実習4 課題研究(撮影から画像現像まで)オリジナルと現像後画像の提 出 テスト				
使用テキスト 教材・教具	スマホ、カメラ(一眼・デジカメ)、リングライトなど					
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	課題、作品40%・テスト60%で評価する					
履修上の 留意点	スマートフォンの無料アプリを使用	検定試験の 概要				
備考						

授業科目	英会話 I			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	宇野 恵美子			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	海外からのお客様や、日本在住の外国人のお客様に英語で接客するために、販売員として必要な基本的な英会話を修得する						
学習到達 目標	英語での店内案内や基本的な商品説明、挨拶や日常会話を円滑に進めるための表現を学ぶ。また、緊急時やトラブルに対応するフレーズを学ぶ						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	レベルチェック、自己紹介	英語レベルの確認と、挨拶・自己紹介・日常会話など気軽な会話を楽しむ					
2	役立つフレーズ	聞き取れない・わからないときや、謝罪のときに使えるフレーズを学ぶ					
3	役立つ表現	相槌や感謝など、お客様に対する細やかな表現を学ぶ					
4	雑談の会話	お客様との距離を縮めるための話題に関する表現を学ぶ					
5	接客①	お客様を迎える際の表現と、営業時間や店内の案内に関する表現を学ぶ					
6	接客②	電話対応に必要な表現を学ぶ					
7	接客③	お客様を見送る際の表現を学ぶ					
8	接客④	お客様の購買意欲をそそる表現と、在庫切れの際の対応を学ぶ					
9	接客⑤	値段交渉と包装に関する表現を学ぶ					
10	接客①～⑤	接客①～⑤の復習とアウトプット・ロールプレイング練習					
11	接客⑥	返品や交換の際に役立つ表現を学ぶ					
12	接客⑦	デザインやサイズ、素材や色などの好みを聞く際と、お手入れの方法を説明する表現を学ぶ					
13	接客⑧	試着に関する表現と、試着後のほめ方のフレーズを学ぶ					
14	緊急時対応	急病人対応と、地震や火災時の緊急対応の表現を学ぶ					
15	前期修了テスト	前期内容について確認					
使用テキスト 教材・教具	『すぐに使える接客英会話 大特訓』Jリサーチ出版						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	小テスト50%・修了テスト50%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	ロールプレイングに積極的に参加すること						

授業科目	服飾造形基礎			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	木村 蘭			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	簡単な補修・丈直しができる技術を身につけ、販売現場で活用できる実践的基礎力を養う						
学習到達 目標	簡単な裾上げ・丈直しができるようにする						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	オリエンテーション	服の構造説明(Tシャツ分解)					
3～4	ミシン	ミシンの仕組み・基本操作を学ぶ					
5～6		実践(基礎縫製練習/コースター制作)					
7～8	ロックミシン	糸のかけ方・ミシンの扱い					
9	アイロン	アイロン基礎操作と縫い代処理					
10～11	手縫いの基礎	玉結び・玉止め・ぐし縫い・まつり・たてまつり・ボタン付け					
12～13	裾上げ練習	手まつり縫い					
14～15		ミシン縫い					
使用テキスト 教材・教具	洋裁道具、配布プリント						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題20%・作品80%の比率で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	制作に関わる生地・糸・副資材は自己負担						

授業科目	ショップマスター I			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	武智 弘晃			時間割	水曜2限	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	ショップマスター(店長)をはじめ、売り場で販売に携わるスタッフのショップ運営の基本を理解する						
学習到達 目標	ショップマスターの仕事を理解する						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 店長として経験のある講師がその経験を活かし、店長業務に関する基礎知識や技術、応用テクニクなどを指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	自己紹介 コミュニケーション	自己紹介・自己PR・コミュニケーション					
2~3	コミュニケーション能力向 上 vol.1	基本的なビジネスコミュニケーション能力向上を目的					
4	ショップマスターの仕事	企業研究・企業の仕組み・店長業務					
5~6	販売員の姿勢・敬語	社会人の基本的な姿勢・敬語講座					
7	ミニテスト	中間テスト					
8~10	接客プロセス研究	接客のプロセスフローの基本を学ぶ					
11~14	売上計算とHOW TO	販売する上で必要な専門用語と計算方法					
15	まとめテスト	前期まとめ筆記テスト					
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	まとめテスト100%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	ファッションビジネス I		時間数 (コマ数)	90 (45)	単位数	6
担当教員 (資格等)	竹松 容子		時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年	
授業科目の テーマと目的	ファッション販売能力検定3級レベルの販売知識を理解する ファッションビジネス検定3級レベルの基礎理論を理解する ファッション基礎知識(素材・色彩・商品知識)を理解し説明できる					
学習到達 目標	ファッションビジネス能力検定3級・ファッション販売能力検定3級の合格					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 シヨップ店長の経験を活かし、学生に指導する				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1	オリエンテーション	検定概要・合格基準理解				
2	ファッション産業構造	頻出語句整理				
3	職種と役割	過去問対応				
4~6	素材:天然繊維	比較問題対策 特徴・用途整理 洗濯表示・品質表示				
7~11	アイテム分類	商品知識 サイズ表示(JIS規格)シーズン分類				
12	ファッション史	出題範囲限定				
13~15	基礎総合小テスト	弱点補強演習 基礎模擬試験				
16~20	F販売能力検定3級得点強化	販売員の基本姿勢(用語暗記) 接客プロセス 接客話法				
21~26	商品説明・顧客管理	商品説明技術 顧客心理・購買動機 F販売能力検定3級模擬試験				
27~42	Fビジネス検定3級得点源完成	マーケティング理論 STP分析 4P理論 MD基礎 流通経路 模擬試験2回				
43	F販売検定 総合模擬	総合模擬試験(過去問)				
44	Fビジネス検定 総合模擬	総合模擬試験(過去問)				
45	最終弱点克服演習	頻出語句総確認				
使用テキスト 教材・教具	『ファッション販売能力検定3級公式テキスト』一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 『ファッション販売3-ファッション販売能力検定3級公式問題集』一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 『ファッションビジネス3級新版』一般社団法人 日本ファッション教育振興協会 『FB能力検定試験3級項目別試験問題・解答集改訂版』一般社団法人 日本ファッション教育振興協会					
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	小テスト30%・総合模擬試験70%					
履修上の 留意点				検定試験の 概要	FB能力検定3級 2026年11月21日(土) F販売能力検定3級 2026年12月12日 (土)	
備考						

授業科目	スタイリング実習 I		時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	稲美 妙乃		時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年	
授業科目の テーマと目的	コーディネート基礎を学び、ファッションショーを通して、現場での心構えや衣装の取り扱い方法、準備から本番までの実践的な対応力を身につける					
学習到達 目標	現場で通用する知識・技術を習得する					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 スタイリストとして経験のある講師が、その経験を活かし、コーディネート技術やプレゼン法を指導する				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1	概論	スタイリストについて				
2	スタイリストバッグ	スタイリストバッグについて				
3	スチームアイロン	スチームアイロンの使い方				
4	底張り	底張りの必要性について				
5	コーディネート実習	ボディの扱い方、リース方法				
6~12		学園祭ファッションショーに向けて				
13		企業案件を想定したコーディネート				
14		プレゼン				
15		まとめ	まとめ			
使用テキスト 教材・教具	ビニールテープ					
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	作品100%で評価する					
履修上の 留意点	授業内容により、私服を用意する			検定試験の 概要		
備考	各自ノート、ファイルを準備する					

授業科目	サービス接客Ⅰ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	重橋 秀香			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	サービス接客実務について初歩的な理解を持ち、基本的なサービスを行うのに必要な知識、技術、 話法接客態度を身に付ける						
学習到達 目標	サービス接客検定 3級合格を目指す						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	必要とされる要件	明るさと誠実さを備える。適切な判断と表現、身だしなみを心得る					
2	従業要件	良識を持ち、素直な態度、適切な行動と協調性、清潔感、忍耐力のある行動について理解する					
3	サービススタッフの資質	サービススタッフの資質についてのテスト					
4	サービス知識	サービスの意義、機能、種類を理解する					
5	従業知識	商業用語、経済用語を理解する					
6	専門知識	商業用語、経済用語など専門知識についてのテスト					
7	社会常識	社会常識、時事問題を理解する					
8	一般知識	社会常識、時事問題についてのテスト					
9	人間関係 接客知識	良好な人間関係、対人心理を理解する。接客者としてのマナーを心得る					
10	話し方	敬語を理解し、接客用を使った話し方を身につける					
11	掲示、説明の仕方、服装	掲示、説明の仕方、接客者としての適切な服装を理解する					
12	接客知識	接客者としてのマナー、適切な敬語を使った話し方のテスト					
13	問題処理、環境整備 金品管理、社交業務	問題処理、環境整備、金品管理、社交業務について理解する					
14	実務技能	実務技能についてテスト					
15	サービス接客検定	サービス接客検定の過去問題を解く					
使用テキスト 教材・教具	『サービス接客検定 3級公式テキスト』早稲田教育出版 『サービス接客検定 実問題集3級』早稲田教育出版						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	模擬テスト60%・検定40%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	サービス接客検定3級 2026年11月8日(日)		
備考							

授業科目	ブランド企画 I			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	秋山 譲司			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	ブランドとSHOPの違いを理解し自身でSHOPを構想してみる						
学習到達 目標	自身で考えたプランに対して可視化し検証、SHOP概要作成						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 商品MDの実務経験を活かし、学生に指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1~2	ブランドとSHOPの違い	SHOPをブランド化させることをイメージする					
3~4	SHOPを構成する事柄	具体的にSHOPを構成するモノ、コトを考える					
5~6	コトの重要性	モノだけで成り立たない理由					
7~8	モノとコト組み合わせを考える	実際に自分で考える					
9~10	SHOPのイメージMAP作成	実際に自分が作ってみたいSHOPをイメージMAPに落とし込む					
11~12	コトに対するイメージを コラージュしてみる	コトのコラージュを可視化してみる					
13~14	SHOPイメージ作成	MAPとコラージュから整理してイメージ概要を作成					
15	SHOPイメージ発表	個別に発表					
使用テキスト 教材・教具	自作のスライド						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	毎時間の小テスト50%・モノとコトの理解10%・MAP 10%・コラージュ 10%・イメージ概要 20%						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	ファッション販売実技・理論Ⅰ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	竹松 容子			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	店舗見学および店舗実習に向け、販売理論と接客実技の基礎を習得し、現場対応力を養う						
学習到達 目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本接客動作ができる</li> <li>・販売プロセスを説明できる</li> <li>・売場観察・分析ができる</li> <li>・実習に必要な社会人マナーを身につける</li> </ul>						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<b>【実務経験内容】</b> ショップ店長の経験を活かし、学生に指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	第1章:販売基礎理論	オリエンテーション/販売職の役割					
2	〃	販売プロセス理論(アプローチ～クロージング)					
3	〃	顧客心理と購買動機					
4	〃	VMD基礎と売場構成					
5	第2章:接客実技演習	第一印象・立ち姿・言葉遣い					
6	〃	ヒアリング・提案演習					
7	〃	クロージング・追加提案					
8	〃	総合ロールプレイ演習(ミニ大会)					
9	第3章:店舗見学事前指導	店舗観察ポイント講義(導線・陳列・接客) 見学ワークシート作成・マナー確認					
10~13	〃	店舗見学					
14	第4章:店舗見学振り返り	見学レポート作成					
15	〃	売場分析発表・改善提案					
使用テキスト 教材・教具	オリジナル配布資料 『ファッション販売能力検定3級公式テキスト』一般財団法人 日本ファッション教育振興協会						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	店舗見学レポート:40%・小テスト:40%・提出物20%						
履修上の 留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・店舗見学先情報の外部発信禁止</li> <li>・身だしなみ基準を厳守</li> </ul>			検定試験の 概要			
備考							

授業科目	ネットビジネスⅠ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	瀧川 倫太			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	現在の労働環境に欠かせないオフィス・オートメーションアプリやWebサービスに対する理解を得る Webメディアを通じ、企業が消費者にどのような情報を提供すべきかを学ぶ						
学習到達 目標	「クライアントニーズ」と「ユーザーニーズ」を基本軸に、Webツールやメディアに対する理解と、Web サイト等のメディアを正確に評価するための知識を身につける						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 ECサイトの運用、コーポレートサイト等のディレクションからリリースまでのワンストップ制作の実 務経験を活かし、学生に指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	デジタルワークの基礎①	Webアカウントの基礎知識や、パスワード管理法など					
2	デジタルワークの基礎②	Google/Microsoftアカウントの運用方法等					
3	Webの登場と歴史	Webの登場が世界にどのような影響を与えたか					
4	ECサイトの歴史	ECサイトの登場と変遷					
5	Webサイト運用の 基礎知識①	Webサイトを評価するうえでの基礎知識					
6	Webサイト運用の 基礎知識②	運用されているWebサイトを分析してみる					
7	SNSマーケティング①	SNSマーケティングと従来のWebマーケティングとの違い					
8	SNSマーケティング②	UGCと購買行動モデル					
9	SNSマーケティング③	SNS運用の基礎知識					
10	第1回レポート作成	レポート制作					
11	第1回レポート発表	SNSマーケティングレポート					
12	ECサイト分析①	ECサイトの種類と特徴					
13	ECサイト分析②	取扱商品からみたECサイト分類					
14	第2回レポート作成	レポート制作					
15	第2回レポート発表	ECサイトレポート					
使用テキスト 教材・教具	オリジナルデータ教材、スライド						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	小テスト40%・レポート発表内容60%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	色彩学Ⅱ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	森田 えり子			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	商品企画やデザイン・販売における具体的事例に触れながら活用イメージを膨らませ、提案できる色彩スキルの基礎を身につける						
学習到達 目標	ファッション色彩能力検定3級合格						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 色彩に関わる業務経験(下着、服飾雑貨、化粧品の商品企画開発・MD)のある講師が、その経験を活かし、色彩スキルの基礎を指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	ファッション産業と色彩	ファッション産業における色彩の役割、演習発表					
2	〃	商品企画における色彩、流行色情報					
3	〃	デザインと色彩					
4	〃	染色、ビジュアルマーチャンダイジング(VP・PP・IP)					
5	〃	照明の色と種類					
6	模擬テスト	模擬テスト①					
7	骨格診断	コラージュ発表、色の成り立ち、光と色					
8	〃	スタイルアップコーデのコラージュ作成					
9～14	検定対策	模擬テスト②～④・解説					
15	テスト	修了テスト					
使用テキスト 教材・教具	色彩学Ⅰに記載						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	模擬テスト30%・修了テスト30%・検定40%で評価する						
履修上の 留意点		検定試験の 概要	ファッション色彩能力検定3級 2026年12月19日(土)				
備考							
備考							

授業科目	デジタル演習Ⅱ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	白石 理恵			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	ビジネスに必要な文書作成ソフトウェア『Microsoft Word』の基本操作を学習し、実践できるスキルを習得する。最終目標として国際資格である『MOS』の取得により、さまざまな機能を使いこなすスキルを身に付け、今後のパソコンを使った業務や作業の効率化を目指す またMOS取得により就職活動のパソコンスキルのアピールに効果的である						
学習到達 目標	基本操作を学習後、さらに実務でレベルアップした機能を使いこなせるように模擬試験を繰り返ししながら『MOS資格』の取得を目指す						
担当教員の 授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 電機メーカーにてOAインストラクターを経た後、学校関係でPC講師としてOfficeソフトの操作指導や資格取得の授業を担当					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	Word MOS 模擬④	模擬問題④を解説しながら一緒に解いていく					模擬問題④ 1~4
2	Word MOS 模擬④	"					模擬問題④ 5~9
3	Word 模擬試験④	各自で模擬試験④を解く (目標70点以上)					
4	Word MOS 模擬⑤	模擬問題⑤を解説しながら一緒に解いていく					模擬問題⑤ 1~4
5	Word MOS 模擬⑤	"					模擬問題⑤ 5~9
6	Word 模擬試験⑤	各自で模擬試験⑤を解く (目標70点以上)					
7	Word 模擬試験	模擬試験①~⑤ (目標80点以上目指し繰り返し解く)					
8	Word 模擬試験	模擬試験①~⑤ (目標80点以上目指し繰り返し解く)					
9	Word 模擬試験	模擬試験①~⑤ (目標80点以上目指し繰り返し解く)					
10	Word 模擬試験	模擬①~⑤とランダム試験 (目標90点以上目指し繰り返し解く)					
11	Word 模擬試験	模擬①~⑤とランダム試験 (目標90点以上目指し繰り返し解く)					
12	Word 模擬試験	模擬①~⑤とランダム試験 (目標90点以上目指し繰り返し解く)					
13	PowerPoint 基礎	PowerPointの基本操作を学ぶ(プレゼン資料の作成方法)					
14	PowerPoint 基礎	視覚効果の高い機能を学ぶ(アニメーション、動画、画面切替他)					
15	PowerPoint 演習	プレゼン資料作成と効果的な発表(シナリオ作成、スライドショー他)					
使用テキスト 教材・教具	『わかるマスター MOS Word 365対策テキスト&問題集』FOM出版						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	模擬試験100%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	MOS Word 365 (一般レベル) 2027年1月下旬		
備考							

授業科目	写真撮影技法Ⅱ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	服部 拓也			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと 目的	カメラ機材の扱い方、撮影技術を学び、撮影によるファッションの表現方法を考える。撮影を通じて、ファッションのイメージを深め、それを表現する撮影テクニックを学ぶ						
学習到達 目標	デジタル一眼カメラの基本的な性質を理解し、イメージを写真により表現する						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 撮影に関する基礎知識を講義し、カメラ実機やストロボを用いた撮影方法を指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～3	撮影基礎	カメラとレンズの基本知識(シャッタースピード、F値、ISO感度など)を復習する 様々な写真イメージを共有し、撮影のイメージの幅を広げる 一眼レスカメラを使い簡単な撮影をし、基本知識の理解を深める					
4～6	写真表現(ロケ撮影)	カメラの基本知識の定着を図る 自然光での撮影をし、自然光での表現方法を学ぶ 画角、背景等意識をした撮影を経験する					
7～8	写真表現(ロケ撮影)	複数イメージを撮影し撮影イメージの幅を広め、 写真レイアウトについての理解を深める					
9	ライティング基礎	ストロボ機材、バック紙の扱い方を学ぶ ライティングによる基本的な光の性質、表現方法を学ぶ					
10～12	写真表現(ライティング)	ライティングによる撮影を通じて、ライティングを駆使した光の表現方法の理解 を深める バック紙背景での撮影のイメージの幅を広げる					
13～15	写真表現(モデル撮影)	これまでの授業での学びを活用し、コーディネートされた衣装のプランニング 撮影をする 衣装作成者(またはコーディネーター)の意図したイメージを共有・理解した上 で それを表現する					
使用テキスト 教材・教具	スマホ、パソコン、カメラ(一眼・デジカメ)、ストロボ、バック紙など						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題20%・作品80%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	英会話Ⅱ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	宇野 恵美子			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	海外からのお客様や、日本在住の外国人のお客様に英語で接客するために、販売員として必要な基本的な英会話を習得する						
学習到達 目標	英語での店内案内や基本的な商品説明、挨拶や日常会話を円滑に進めるための表現と、緊急時やトラブルに対応するフレーズを身に付ける						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	前期の復習	前期で学んだ語彙やフレーズを復習する					
2	店内で使う基本表現①	接客で用いる基本的な語彙とフレーズを学ぶ					
3	店内で使う基本表現②	店内で使用するモノや場所の語彙を学ぶ					
4	店内で使う基本表現③	店内で使用するモノや場所の語彙と、想定される店内応対に関する表現を学ぶ					
5	接客①	お迎え入れ→アプローチ→商品選択までの流れについての表現を身に付ける					
6	接客②	商品を選択する際に必要な表現と在庫確認について説明する際の表現を身に付ける					
7	接客③	欠品と取り寄せについての説明と、他の商品をお勧めする際の表現を身に付ける					
8	接客④	試着対応と褒め言葉、寸法直しについての表現を身に付ける					
9	接客⑤	クローゼット→会計の流れと、その応対についての表現を身に付ける					
10	接客⑥	お見送りの際の声掛けについてのフレーズを身に付ける 数字の表現について学ぶ					
11	接客①～⑥のアウトプット (1)	一通りの流れをシュミレーション練習し、定着させる					
12	接客①～⑥のアウトプット (2)	更に応用できるよう、アクアウト練習を行う					
13	緊急時対応	急病人対応と、地震や火災時の緊急対応の表現を身に付ける					
14	レッスン1～13総復習	レッスン1～13の復習とアウトプット					
15	後期修了テスト	後期内容について確認					
使用テキスト 教材・教具	『すぐに使える接客英会話 大特訓』Jリサーチ出版						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	小テスト50%・修了テスト50%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	ロールプレイングに積極的に参加すること						

授業科目	服飾造形応用			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	木村 蘭			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	衣服の構造と縫製工程を踏まえ、販売現場で活用できる応用的な補修・簡易リメイク技術を習得する						
学習到達 目標	アップサイクルによる商品価値向上を提案する						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	復習	裾上げ・ボタン付けチェック					
3	部分縫い1	ファスナー付け・パイピング					
4	リメイク課題1	ディスカッション（アップサイクル「売れる商品」に変える発想）					
5～9		ミシン・ロックミシンを使って縫製					
10	リメイク課題2（オリジナル）	オリジナルのアップサイクル商品立案					
11～14		ミシン・ロックミシンを使って縫製					
15		仕上げ・総評					
使用テキスト 教材・教具	洋裁道具、配布プリント						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	課題20%・作品80%の比率で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考	制作に関わる生地・糸・副資材は自己負担						

授業科目	ショップマスターⅡ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	武智 弘晃			時間割	水曜2限	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	ショップマスター(店長)をはじめ、売り場で販売に携わるスタッフのショップ運営の基本を理解する マップやショップ見学を通し、実際の現場の構成を把握し、リサーチ力と自分のプランを創り出す						
学習到達 目標	ショップマスターの仕事を理解する						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 店長として経験のある講師がその経験を活かし、店長業務に関する基礎知識や技術、応用テク ニックなどを指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	前期振り返り	前期授業の振り返り					
2～3	情報収集とアウトプット	インプットとアウトプット					
4	セールスポイント研究	商品の特性を“見つける”“伝える”					
5	販売心理学	顧客の購買行動・心理を研究					
6	コミュニケーション能力向 上vol.2	vol.1を踏まえたコミュニケーション能力の研究					
7～8	レイアウト講座	導線やフォーカルポイントの作成/他業種のVMD研究					
9～13	販売RPG	販売RPG					
14	販売RPG実技テスト	実技テスト					
15	まとめテスト	まとめテスト(筆記)					
使用テキスト 教材・教具							
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	筆記テスト50%・実技テスト50%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	ファッションビジネスⅡ			時間数 (コマ数)	90 (45)	単位数	6
担当教員 (資格等)	竹松 容子			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	検定問題演習を通じて、販売・流通・商品知識・計数管理の基礎を体系的に復習し、現場で活用できる知識へと昇華させる						
学習到達 目標	ファッションビジネス能力検定3級・ファッション販売能力検定3級の合格						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 ショップ店長の経験を活かし、学生に指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	頻出基礎固め	出題傾向分析/合格ライン確認					
2～3	〃	接客プロセス・顧客心理・購買動機					
4～6	〃	クレーム対応・商品知識(繊維)・品質表示・取扱表示					
7～9	〃	流通基礎(SPA・OEM)・小売業態・マーチャンダイジング基礎					
10～13	〃	在庫管理・売上構成要素。値入・掛率・客単価・回転率					
14～15	〃	計算集中演習・確認テスト					
16～20	分野別徹底演習	販売分野演習					
21～24	〃	商品知識演習					
25～27	〃	流通・ビジネス演習					
28～29	〃	計算演習特訓					
30	〃	模擬試験①					
31～38	弱点補強	模試分析・総合演習					
39～45	本番完成	模試試験②・解説・弱点補強・直前対策					
使用テキスト 教材・教具	『ファッション販売能力検定2級公式テキスト』一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 『ファッション販売2-ファッション販売能力検定2級公式問題集』一般財団法人 日本ファッション教育振興協会 『ファッションビジネス2級新版』一般財団法人 日本ファッション教育振興協会						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	小テスト30%・模擬試験①②70%						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	FB能力検定3級 2026年11月21日(土) F販売能力検定3級 2026年12月12日 (土)		
備考							

授業科目	マーケティング I			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	大方 和則			時間割	火曜2限	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションクリエイター学科 1年 ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	実店舗運営をシュミレーションし、ファッションマーケティングを実践的に学ぶことで企業研究や就職活動に生かせることを目的とする						
学習到達 目標	ファッションマーケティングの基礎知識を説明できるようにレベル(FB3級程度)を目指す						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 ショップスタッフ、店長、バイヤー・マネージャーなどの経験を活かし、即戦力となるスキルを学生に指導していきます					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	ファッション業界の現状	(目標)現在の市場動向を把握を説明できる					
2	市場動向/ビジネス企画	(目標)基本的なマーケティングの流れを説明できる					
3	市場動向/ビジネス企画	(目標)強みを社会貢献につなげるパーパスの設定ができる					
4	市場動向/ビジネス企画	(目標)STP分析ができる					
5	市場動向/ビジネス企画	(目標)立地戦略ができる					
6	市場動向/ビジネス企画	(目標)春夏のバイイングができる					
7	市場動向/ビジネス企画	(目標)秋冬のバイイングができる					
8	市場動向/ビジネス企画	(目標)PB企画ができる					
9	市場動向/ビジネス企画	(目標)インスタマーチャンダイジング(接客)が理解できる					
10	市場動向/ビジネス企画	(目標)インスタマーチャンダイジング(VMD)が理解できる					
11	市場動向/ビジネス企画	(目標)プレストアマーチャンダイジング(プレス)が理解できる					
12	市場動向/ビジネス企画	(目標)ECの構築ができる 前編					
13	市場動向/ビジネス企画	(目標)ECの構築ができる 後編					
14	市場動向/ビジネス企画	(目標)3ヶ年予算計画 初年度年予算編成ができる					
15	市場動向/ビジネス企画	(目標)初年度月別仕入予算編成ができる					
使用テキスト 教材・教具	ノートパソコン(グーグルのアプリ使用)						
参考図書 参考文献	様々なメディアから発信されるニュースを取り扱う						
成績評価の 方法・基準	課題を100%で評価						
履修上の 留意点	オンライン授業 質問等はWEB上の個人ノート上で解説			検定試験の 概要			
備考	オンライン上で企画書を積み重ねていくので出席の意識を強く持つこと						

授業科目	スタイリング実習Ⅱ		時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	稲美 妙乃		時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年	
授業科目の テーマと目的	コーディネートの実用性を高め、テーマ設定からスタイリング構築までを実践的に行う。ファッションショーを通して、表現力の向上、衣装管理の徹底、チーム連携による現場での判断力と対応力を身につけ、完成度の高いスタイリング提案ができる力を養う					
学習到達 目標	現場で通用する知識・技術を習得する					
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 スタイリストとして経験のある講師が、その経験を活かし、コーディネート技術やプレゼン法を指導する				
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度					
1	概論	松コレとは				
2~4	ロープレ	店舗(実習ラボ)を使用して販売接客等のロープレ				
5~12	コーディネート実習	松コレに向けて				
13		モデルにコーディネート				
14		撮影				
15	まとめ	まとめ				
使用テキスト 教材・教具						
参考図書 参考文献						
成績評価の 方法・基準	作品100%で評価する					
履修上の 留意点	授業内容により、私服を用意する			検定試験の 概要		
備考	各自ノート、ファイルを準備する					

授業科目	サービス接遇Ⅱ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	重橋 秀香			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	サービス業について理解し、知識を深める						
学習到達 目標	サービス接遇検定3級を取得する						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	解答、解説	前回テストの解答、解説を行う					
2	サービス接遇検定	サービス接遇検定過去問題を解く					
3	解答、解説	前回テストの解答、解説を行う					
4	サービス接遇検定	サービス接遇検定過去問題を解く					
5	解答、解説	前回テストの解答、解説を行う					
6	サービス接遇検定	サービス接遇検定過去問題を解く					
7	解答、解説	前回テストの解答、解説を行う					
8	サービス接遇検定	サービス接遇検定過去問題を解く					
9	解答、解説	前回テストの解答、解説を行う					
10	接遇マナー、仕事の進め方	第一印象、あいさつ、身だしなみ、仕事の進め方について学ぶ					
11	自己紹介、名刺交換	好感の待たれる自己紹介、名刺交換のマナーを学びロールプレイ					
12	話法接遇の復習	敬語、クッション言葉など、ビジネスの場面における言葉遣いを復習してロールプレイ					
13	電話応対	電話応対のマナー、電話での対応の仕方を学びロールプレイ					
14	メール、チャットの表現	メールとチャットの違い、ビジネスでの的確な表現を学ぶ					
15	テスト	これまでの授業で学んだことの理解度を試すテスト					
使用テキスト 教材・教具	『サービス接遇検定 3級公式テキスト』早稲田教育出版 『サービス接遇検定 実問題集3級』早稲田教育出版						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	模擬テスト60%・検定40%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要	サービス接遇検定3級 2026年11月8日(日)		
備考							

授業科目	ブランド企画Ⅱ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	秋山 譲司			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	SHOPの看板アイテムを考えてみる						
学習到達 目標	自身で考えたロゴアイテムをシルクスクリーンプリントを使ってサンプル作成						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 商品MDの実務経験を活かし、学生に指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～2	SHOPのロゴとは？	ロゴの意味合いを考える					
3～4	シルクスクリーンプリントとは	プリントの技法などの知識を解説					
5～6	版下作成	プリント例を解説しつつ版下のアイデアを考える					
7～8	版下作成	版下を各自作成					
9～13	プリント実習	美術館にてプリント製版、刷り					
14～15	SHOP概要	SHOP概要に制作物の画像を添付し概要を作成提出					
使用テキスト 教材・教具	自作のスライド						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	プリントの理解20%・版下作成30%・プリント実習30%・概要20%						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	ファッション販売実技・理論Ⅱ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	1
担当教員 (資格等)	竹松 容子			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	店舗実習を通して販売実践力を養い、売場分析力と自己課題発見力を高める 本授業は「できた/できない」よりも、気づきと成長過程を重視する科目とする						
学習到達 目標	現場の状況に応じて、優先順位を判断して最適な販売プロセスを実践できる チームの一員として店舗目標を共有し、スタッフ間の連携(報・連・相)や主体的なサポート業務ができる						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 ショップスタッフ、店長の経験を活かし、学生に指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1~2	事前準備	実習目的理解・目標設定(百貨店とモールの違い 個人目標シート作成) 接客総合演習(販売プロセス総復習・ロールプレイ実技確認) 実習マナー最終確認(報連相・守秘義務/SNSルール・身だしなみチェック)					
3~14	店舗実習(3日間)	百貨店・モール双方で特性を意識する					
15	実習振り返り	店舗実習活動報告書作成・お礼状の作成・成果発表・今後の課題設定					
使用テキスト 教材・教具	オリジナル配布資料 『ファッション販売能力検定2級公式テキスト』一般財団法人 日本ファッション教育振興協会						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	実習評価(企業評価含む)40%・実習レポート30%・発表20%・提出物10%						
履修上の 留意点	契約書(実習先) 誓約書を交わす			検定試験の 概要			
備考	①実習は企業の協力のもとで実施されるため、社会人としての自覚を持つこと ②遅刻・欠席は評価に大きく影響する ③実習中の問題行動は単位認定に関わる場合がある ④日報・レポートは期限厳守とする ⑤実習は「経験」で終わらせず、必ず分析・改善まで行うこと						

授業科目	ネットビジネスⅡ			時間数 (コマ数)	30 (15)	単位数	2
担当教員 (資格等)	瀧川 倫太			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	必修	講義/実習	講義	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	汎用的な制作ツールを用いて、効果的なデザイン手法を取り入れたメディア制作を学ぶ 宣伝メディアとして大きな影響を持つ、SNSの運用法を学ぶ						
学習到達 目標	業務レベルを想定したメディア制作・運用を行う、知識と技術を身につける						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 ECサイトの運用、コーポレートサイト等のディレクションからリリースまでのワンストップ制作の実 務経験を活かし、学生に指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	Canvaの基礎操作①	Canvaをはじめる(アカウント作成等)					
2	Canvaの基礎操作②	インターフェースの理解と操作①					
3	Canvaの基礎操作③	インターフェースの理解と操作②					
4	デザインの基礎知識	消費者の注意を惹くためのデザイン手法					
5	Web素材の活用法	Web上の素材サイトなどの活用法と注意点					
6	Canvaでのバナー作成①	バナー制作のためのデザイン手法					
7	Canvaでのバナー作成②	Webバナー制作(実技)①					
8	Canvaでのバナー作成③	Webバナー制作(実技)②					
9	Canvaでの リール動画作成①	現在のWebメディアでのショートムービーの有用性と手法					
10	Canvaでの リール動画作成②	動画制作(実技)①					
11	Canvaでの リール動画作成③	動画制作(実技)②					
12	制作レポートの発表	これまでの制作物をレポート形式で発表					
13	SNS運用①	SNS運用の基礎知識①					
14	SNS運用 ②	SNS運用の基礎知識②					
15	SNS運用 ③	インサイト(アクセス解析)の活用					
使用テキスト 教材・教具	オリジナルデータ教材、スライド						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	小テスト40%・レポート発表内容60%で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	ヘアメイク実技・理論 I			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	高岡 笑子			時間割	時間割参照	開講期	前期
選択/必修	選択	講義/実習	実習	履修対象者 (学科・コース・学年)	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	ブライダル・広告撮影・CMなど様々なジャンルのヘアメイクを担当する美容室『track time』と連携し、基礎を学びながら、自分らしい作品を作り上げられるように様々なことに挑戦できる学習にする						
学習到達 目標	ヘアメイクトータルで90分仕上げ						
担当教員の 授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 ブライダルや各種セレモニー、CM・テレビ・企業広告などのヘアメイク経験のある講師が、その経験を活かし、ヘアメイクの基礎知識や技術、応用テクニックなどを指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1	道具について	備品や道具についての説明					
2	ヘアメイクについて	ヘアメイクについての講義・分析など					
3~5	メイク基礎	ベースメイク～眉の描き方 等					
6~8	ヘア基礎	ウィッグの扱い・ゴムの結び方・ピンの留め方 等					
9~12	メイク基礎	ポイントメイク 等					
13~17	ヘア基礎	コテの使い方・編み込み基本					
18~23	ヘアメイク	学園祭ショーヘアメイク練習					
24~26	メイク応用	テーマに合わせてのメイク					
27~28	ヘア応用	テーマに合わせてのヘア					
29~30	ヘアメイク	ヘアとメイク両方での作品作り					
使用テキスト 教材・教具	ヘアメイク用具セット(履修者自己負担)						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	提出作品を、テーマ理解度25%・デザイン性25%・テクニック25%・スピード25%の比率で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							

授業科目	ヘアメイク実技・理論Ⅱ			時間数 (コマ数)	60 (30)	単位数	2
担当教員 (資格等)	高岡 笑子			時間割	時間割参照	開講期	後期
選択/必修	選択	講義/実習	実習	履修対象者 <small>(学科・コース・学年)</small>	ファッションビジネス学科 1年		
授業科目の テーマと目的	ブライダル・広告撮影・CMなど様々なジャンルのヘアメイクを担当する美容室『track time』と連携し、基礎を復習しながら、自分らしい作品を作り上げられるように様々なことに挑戦できる学習にする						
学習到達 目標	ヘアメイクトータルで90分仕上げ						
担当教員の 授業に関わ る実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	【実務経験内容】 ブライダルや各種セレモニー、CM・テレビ・企業広告などのヘアメイク経験のある講師が、その経験を活かし、ヘアメイクの基礎知識や技術、応用テクニックなどを指導する					
コマ割	授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度						
1～5	テーマ別作品づくり	テーマを決めてメイクのみ相モデルで作品を作る					
6～10	テーマ別作品づくり	テーマを決めてヘアのみ相モデルで作品を作る					
11～15	テーマ別作品づくり	ヘアメイクトータルでの作品づくり					
16～18	ヘアアレンジ	アップスタイルのしっかりしたものを作る					
19～23	メイクアレンジ	ショー用のヘアメイク					
24～28	ショー用ヘアメイクアレン ジ	時間を決めて丁寧に作品を作る					
29～30	作品作り	進級にあたっての作品制作					
使用テキスト 教材・教具	ヘアメイク用具セット(履修者自己負担)						
参考図書 参考文献							
成績評価の 方法・基準	提出作品を、テーマ理解度25%・デザイン性25%・テクニック25%・スピード25%の比率で評価する						
履修上の 留意点				検定試験の 概要			
備考							